

2016 年度 実践研究フォーラム

主催:公益社団法人日本語教育学会

協力:東京外国語大学

日時:2016年8月6日(土)10:00~18:30(受付開始 9:30)

2016年8月7日(日) 9:30~17:00(受付開始 9:00)

会場:東京外国語大学 府中キャンパス 研究講義棟1階

参加費(予稿集代含む):一般=5,000円/日本語教育学会会員=3,000円/学生 2,000円*

参加申込:事前にメール申込および参加費の銀行振込が必要です。

※学生料金で参加する方は、当日受付で学生証の提示をお願いいたします。

問合せ:公益社団法人日本語教育学会 研究集会委員会事務局

TEL 03-3262-4291 E-mail kenkyushukai@nkg.or.jp

当日連絡先:090-1999-3315(日本語教育学会携帯電話, 当日のみ可)

【第1日】8月6日(土)

受付	ガレリア	09:30~16:30
開会式・趣旨説明	マルチメディアホール	10:00~10:30
みんなの実践広場	100・104・105・110・111 講義室	10:30~13:30
対話型・企画セッション	106・110・111・112 講義室	13:30~16:30
実践研究フォーラム 語りの会	100 講義室	17:00~18:30

※1日目の昼食時間は特に設けておりませんので各自で適宜お願いします。

※1日目の書籍展示販売(凡人社)は、ガレリアにて10:30~13:30に予定しております。

【開会式・実践研究フォーラム趣旨説明】 10:00~10:30

マルチメディアホール

司会進行:松本明香(東京立正短期大学)・寅丸真澄(東京外国語大学)

実践研究フォーラム趣旨説明および各セッションの紹介をします。

【みんなの実践広場】 10:30~13:30

◆第1会場(ブース出展)◆ 10:30~13:30

100講義室

※出展者が常駐するのは、B-01~03が10:30~12:00, B-04~06が12:00~13:30です。

(B-01)学習者になってみるー『架空の言語』の直接法授業ー

上田潤子(早稲田大学)

(B-02)「にほんご あいあい」から「多文化ひろば あいあい」へー地域日本語活動の変遷を経てー

福村真紀子(早稲田大学大学院生)

(B-03)演劇の制作ー日本語教育の観点からー

柳田しのぶ(筑波大学)

(B-04) Facebook「日本語コミュニティ」教師チームメンバー募集

ー世界のネット自律学習者をプロ教師同士でサポートしませんか？ー

吉開章(The 日本語 Learning Community)・野島恵美子(香港パソナエデュケーション)

(B-05)『まるごと』を使用した初級コースの実践

東健太郎(国際交流基金関西国際センター)・安達祥子(同)・笠井陽介(同)

(B-06)ビジネス日本語会話授業におけるゲストセッション

ーゲストと対等な関係を築くトピック探しー

長崎清美(東京外語専門学校)・尾又由利子(同)

◆第2会場(ポスター出展)◆ 10:30~12:00

110 講義室

(P-01) 自律学習支援ツール“振り返りシート”の利用から見えてきた可能性

森美紀(元国際交流基金マニラ日本文化センター日本語教育アドバイザー)・

青沼国夫(元国際交流基金ジャカルタ日本文化センター日本語教育アドバイザー)

(P-02) 発音を意識し伝わり方を考える発音授業ー詩を用いてー

櫛佳世(東京学芸大学大学院生)・富岡泉(早稲田大学大学院生)・

江森悦子(元アークアカデミー)

(P-03) 日本語3年生の多読コースの実践報告

増田恭子(米国・ジョージア工科大学)

(P-04) 大学生と大学院生の協働によるインドネシアの大学生への日本語教育実践

ー私たちの授業ができるまでー

片山恵(早稲田大学大学院生)・太田花菜(元早稲田大学学生)・

下平旬範(早稲田大学学生)・高野優海(同)・浜野秀吾(同)・原百花(同)

(P-05) Waseda SEND Program における若手日本語教師の学び

鮑本弘平(早稲田大学大学院生)・星千尋(同)

◆第3会場(ポスター出展)◆ 10:30~12:00

111 講義室

(P-06) 外国人大学生の就職支援と日本語教育

ーネットワークとキャリア意識形成を重視した会話コースの実践ー

山口麻子(テンプル大学ジャパンキャンパス)

(P-07) 学部の新入留学生に対する初年次教育の必要性について

田川恭識(神奈川大学)・徳間晴美(早稲田大学)

(P-08) 予備教育における日本留学試験「総合科目」対策クラスの語彙指導
木戸恵子(目白大学)・後藤倫子(同)・中村祐理子(同)

(P-09) 日本における「圧倒的経験」とどう向き合うか
ー日本語教育実践「日本での出会いを語る・書く」における事例をもとにー
古賀和恵(早稲田大学)

(P-10) スピーキングとライティングスキルの向上をめざした「ビジネス日本語」授業
船橋瑞貴(群馬大学)・大和啓子(同)

◆第4会場(ポスター出展)◆ 12:00~13:30 **104講義室**

(P-11) インタビュー詩によることばの学習から見えてきたこと
ー中国の大学での日本語教育の実践をもとにー
守内映子(中国・華東師範大学)

(P-12) レベル差の大きいクラスにおけるルーブリックを取り入れたライティング授業の実践ー
川本真佐美(京都西山短期大学)

(P-13) レベル差のある大人数クラスにおける自律的学習活動の試み
ー「私」と「日本語」プロジェクトー
富吉結花(第一工業大学東京上野キャンパス)・ローズ平田昌子(同)

(P-14) 交換留学生対象の日本語クラスのあり方を考える
ー「読み」を出発点とした漢字授業の実践を通してー
中岡樹里(大阪大学)

(P-15) 自律的教室外多読に向けた日本語多読コミュニティ環境整備
ー学習者向け日本語多読支援ホームページ作成の試みー
高橋亘(東京外国語大学大学院生)

◆第5会場(ポスター出展)◆ 12:00~13:00 **105講義室**

(P-16) 日本企業で働くベトナム人社員に対する日本語研修
八嶋康裕(麗澤大学)・井上里鶴(同)

(P-17) 「外国につながる子ども」学習支援における、子どもと支援者が共に育つ場作り
ー東京外国語大学学生の実践よりー
西原明子(東京外国語大学)

(P-18) 語彙学習における教室内インターアクションの分析—学習者主体の授業を目指して—
武井真美(関西大学)

(P-19) 持続可能な小規模教師研修の提案—「語りを聴く」:物語と対話の有機的な連携—
萩原秀樹(インターカルト日本語学校)

(P-20) 大学における日本語個別指導の現状と課題
福田紀子(東京大学)

【昼食休憩(適宜)】 **102講義室**

1日目の昼食時間は特に設けておりませんので各自で適宜お願いします。
持参した昼食は参加者控室にてお召し上がりください。各自ゴミの持ち帰りにご協力ください。

【対話型セッション・企画セッション】 13:30~16:30(※セッションAは~15:30)

【セッションA】対話型セッション **106講義室**

(S-A) 外国につながる学生が留学生とともに学ぶ場のデザイン

—大学における日本語学習支援のあり方—

発題者: 舟橋宏代(鈴鹿大学)

コーディネーター: 佐藤智照(国際交流基金)・辻雅代(特定非営利活動法人地球学校)

【セッションB】対話型セッション **110講義室**

(S-B) 実践研究フォーラムの仕掛け

—実践研究を実現するシステムの構築をめざして—

発題者: 古屋憲章(早稲田大学)

コーディネーター: 佐藤正則(山野美容芸術短期大学)・広瀬和佳子(神田外語大学)

【セッションC】対話型セッション **111講義室**

(S-C) カリキュラムアーティキュレーションのための第一歩—J-GAP 実践体験の共有—

発題者: 蘇 寿富美(城西国際大学)

コーディネーター: 中川健司(横浜国立大学)・大津友美(東京外国語大学)

【セッションD】企画セッション **112講義室**

(S-D) 日本語教師のメンタルヘルスを考える

—より良い仕事のために自己のストレスを見直し心を守る—

話題提供者: 宮森孝史(臨床心理士)

コーディネーター: 久野由宇子(東海大学)・黒崎亜美(ラボ日本語研修所)・鈴木秀明(目白大学)

【実践研究フォーラム 語りの会】 17:00～18:30 100講義室

司会進行: 佐藤智照(国際交流基金)・中川健司(横浜国立大学)

フォーラム1日目の最後に「語りの会」を開催します。

「語りの会」は、これまでの自分の実践や研究について、また、当日のセッションで感じたことについて他の参加者と話したり、共有したりするための場です。

テーマとしては以下のようなものを考えています。

- ・これからの実践研究／実践研究の未来、私と実践研究
- ・日本語教師のメンタルヘルス
- ・学習者のキャリア支援／ビジネス日本語、就職支援
- ・日々の実践／実践の企画、立ち上げ、継続、連携
- ・日本語教師としてのキャリア等

多くの方のご参加をお待ちしています。

【第2日】8月7日(日)

受付	ギャラリー	09:00～14:00
対話型・体験型セッション	106・110・111・112 講義室	09:30～12:30
昼食休憩	参加者控室(102 講義室)	12:30～13:30
パネルセッション	マルチメディアホール	13:30～16:30
全体共有・閉会式	マルチメディアホール	16:30～17:00

※2日目の書籍展示販売は、詳細が決定次第、参加者にご連絡します。

【対話型セッション・体験型セッション】 9:30～12:30(※セッションFは～11:30)

【セッションE】対話型セッション 106講義室 ※本セッションは一部録音があります。

(S-E)教えない授業」は効果があるか

ー学習者中心の授業活動の評価の方法を考えるー

発題者: 辻和子(ヒューマンアカデミー日本語学校東京校)・望月さくら(同)・新藤恵(同)・
佐藤綾子(同)

コーディネーター: 黒崎亜美(ラボ日本語研修所)・佐藤智照(国際交流基金)・
辻雅代(特定非営利活動法人地球学校)

【セッションF】対話型セッション 110講義室

(S-F)実践の協働的振り返りを問い直す

ー葛藤と痛みを通した内省的実践家への道ー

発題者: 近藤有美(名古屋外国語大学)・小畑美奈恵(早稲田大学大学院生)・

小山悟(九州大学)・戸上理恵子(明日香日本語学校)・川崎加奈子(長崎外国語大学)

コーディネーター: 大津友美(東京外国語大学)・久野由宇子(東海大学)

【セッションG】体験型セッション **111講義室**

(S-G) 自分の関わる日本語教育プログラム像を描いてみよう
ープログラム可視化テンプレート試用版を用いてー

発題者: 徳永あかね(神田外語大学)・大河原尚(大東文化大学)・遠藤藍子(開智国際大学)・
小池亜子(国士舘大学)・菅谷有子(東京大学)・田中和美(国際基督教大学)・
中河和子(トヤマ ヤポニカ)・札幌寛子(金沢工業大学)・ポイクマン総子(東京大学)・
松下達彦(東京大学)・古川嘉子(国際交流基金)
コーディネーター: 鈴木秀明(目白大学)・中川健司(横浜国立大学)

【セッションH】体験型セッション **112講義室**

(S-H)「日本語教師のライフストーリー・インタビュー」体験ー実践者の経験をむすぶー

発題者: 重信三和子(武蔵野大学)・家根橋伸子(東亜大学)
コーディネーター: 広瀬和佳子(神田外語大学)・寅丸真澄(東京外国語大学)・
松本明香(東京立正短期大学)

【昼食休憩】 12:30～13:30 **102講義室**

持参した昼食は参加者控室にてお召し上がりください。各自ゴミの持ち帰りにご協力ください。

【パネルセッション】 13:30～16:30 **マルチメディアホール**

「実践研究の可能性ーことばの教育の未来を拓くー」

パネリスト: 伊東 祐郎 氏(東京外国語大学)
加藤 早苗 氏(インターカルト日本語学校)
西口 光一 氏(大阪大学)
細川 英雄 氏(言語文化教育研究所八ヶ岳アカデミア)
コーディネーター: 佐藤正則(山野美容芸術短期大学)・寅丸真澄(東京外国語大学)・
松本明香(東京立正短期大学)

【全体共有・閉会式】 16:30～17:00 **マルチメディアホール**

司会進行: 佐藤正則(山野美容芸術短期大学)

以上